

## 花冠裂片数の変異に基づくヘツカリンドウ(リンドウ科)の2品種

著者	中村 剛, 國府方 吾郎, 傳田 哲郎, 横田 昌嗣
著者別表示	Nakamura Koh, Kokubugata Goro, Denda Tetsuo, Yokota Masatsugu
雑誌名	植物地理・分類研究
巻	56
号	1
ページ	33-34
発行年	2008-09-30
URL	<a href="http://doi.org/10.24517/00053385">http://doi.org/10.24517/00053385</a>

中村 剛<sup>1</sup>・國府方吾郎<sup>2</sup>・傳田哲郎<sup>3</sup>・横田昌嗣<sup>3</sup>：花冠裂片数の変異に基づくヘツカリンドウ（リンドウ科）の2品種

Koh Nakamura<sup>1</sup>, Goro Kokubugata<sup>2</sup>, Tetsuo Denda<sup>3</sup> and Masatsugu Yokota<sup>3</sup>: Two forms of *Swertia tashiroi* (Maxim.) Makino (Gentianaceae) based on variation in the number of corolla lobes

ヘツカリンドウ *Swertia tashiroi* (Maxim.) Makino (リンドウ科センブリ属 *Ophelia* 節) は、常緑の根生葉をもつ草本で、九州南部から琉球列島の沖縄島、久米島まで分布する (Toyokuni and Yamazaki 1993)。花冠は直径 1.5–2 cm で通常 5 裂ときに 4 裂し、各裂片に蜜腺溝をもつ (Maximowicz 1886; Toyokuni and Yamazaki 1993)。

著者らは 2008 年 5 月、沖縄県国頭郡伊平屋村伊平屋島の賀陽山で、ヘツカリンドウの八重咲きの個体を採集した (Fig.1)。この個体は、萼裂片が通常の 5 枚よりも増加し、一部の萼裂片が蜜腺溝の発達した花弁状になっていた。また一部の雄蕊もわずかに弁化する傾向が見られたが、発達した蜜腺溝は認められなかった。開花していた花は全て八重咲きであったことから、この形質は個体内で安定していると考えられる。本種における花冠裂片数の変異型としては、花冠が 4 裂した花のみをつける個体が屋久島で採集され、ジュウジアケボノソウ *S. tashiroi* (Maxim.) Makino var. *cruciata* F. Maek.として記載されているが(前川 1936)、Toyokuni and Yamazaki (1993) はジュウジアケボノソウをヘツカリンドウの異名として扱っており、花冠裂片数の変異については分類学的に重要視しない見解もある。一方、最近、台湾屏東県から新種記載された *Ophelia* 節の *S. changii* S. Z. Yang, C. F. Chen et C. H. Chen は、花が 4 数性であることを重要な形質として近縁種シンテンアケボノソウ *S. shintenensis* Hayata から区別されている (Chen et al. 2008)。しかし、両種の他の識別形質が、花冠裂片と蜜腺溝の色というヘツカリンドウでは極めて変異性が高い形質や (仲村 2006)、種皮表面の突起のサイズといった軽微な形質であることから、*S. changii* を独立種として扱うことが妥当であるかについては再検討の余地がある。ヘツカリンドウにおける花冠裂片数の変異性は、*S. changii* の分類学的再検討に際して重要な示唆を与えるものと考えられる。このような例を考慮すると、ヘツカリンドウにお

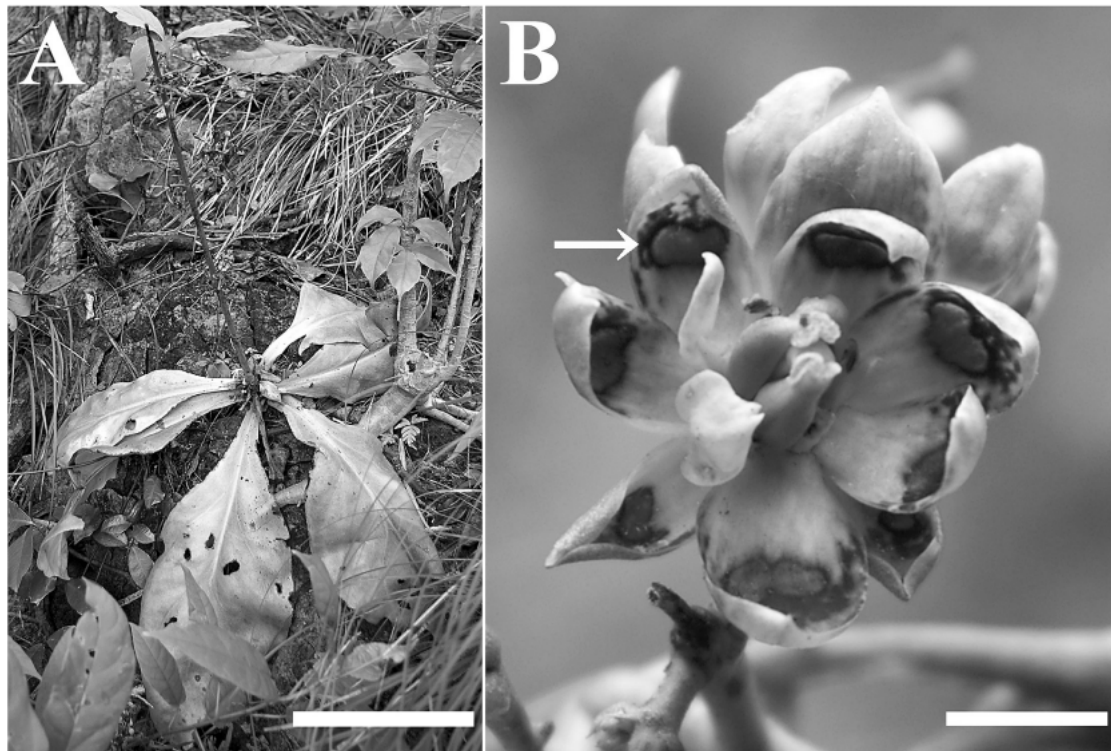


Fig.1. *Swertia tashiroi* f. *plena* at Mt. Gayo-zan, Iheya Island, Iheya-son, Kunigami-gun, Okinawa Pref. (May 26, 2008). A: Habit (scale bar = 15 cm). B: Doubled-flower (scale bar = 5 mm). An arrow indicates a glandular groove on a corolla lobe.

る花冠裂片数の変異型を種内分類群として記載することは、当形質の変異性を明瞭に記録する上で有効であり、分類学的に意義があると考えられる。へつかりンドウの八重咲き個体を新品種として発表し、和名はヤエザキへつかりンドウとする。また、ジュウジアケボノソウについては、4 数性という単一の形質に基づくうえ、この形質は稀に基本変種の一部の花にも見られることから、より下位のランクの分類群とするのが妥当と考えられるので、品種に組み換える。

本論文をまとめるにあたり、*S. changii* について情報を頂いた台湾国立自然科学博物館の陳 建帆氏に謝意を記す。本研究は、琉球大学 21 世紀 COE プログラム「サンゴ礁島嶼系の生物多様性の総合解析」および日本学術振興会科学研究費基盤研究 C (17570083, 横田; 20540460, 國府方) の助成を受けた。

***Swertia tashiroi*** (Maxim.) Makino f. ***plena*** Koh Nakam., Kokubugata, Denda et Yokota, f. nov. (Fig. 1)

Flores pleni, sepalis petaloideis glandulosis, staminibus interdum leviter petaloideis sed eglandulosis.

Holotype : Japan, the Ryukyu Archipelago, Okinawa Pref., Kunigami-gun, Iheya-son, Iheya Island, Mt. Gayo-zan (27°02'01.4" N, 127°57'18.2" E, 20 m alt.). Koh Nakamura 080114, May 26, 2008 (RYU).

Japanese name : Yaezaki-hetsuka-rindo, nom. nov.

***Swertia tashiroi*** (Maxim.) Makino f. ***cruciata*** (F. Maek.) Koh Nakam., Kokubugata, Denda et Yokota, stat. nov.

Basionym : *S. tashiroi* (Maxim.) Makino var. *cruciata* F. Maek. in J. Jpn. Bot. **12** : 160, Fig. 2 (1936).

Japanese name : Juji-akebonoso (Maekawa 1936).

#### 引用文献

Chen, C. H., Chen, C. F. and Yang, S. Z. 2008. *Swertia changii* (Gentianaceae), a new species from southern Taiwan. Bot. Std. **49** : 155-160.

前川文夫. 1936. へつかりんだうトソノ一群. 植物研究雑誌 **12** : 156-161.

Maximowicz, C. J. 1886. Diagnoses plantarum novarum asiaticarum VI. Bull. Acad. Sci. St.-Pét. **31** : 12-121.

仲村 昇. 2006. いつまでも残したいふるさとの草木. 132 pp. ドリーム印刷, 南風原.

Toyokuni, H. and Yamazaki, T. 1993. *Swertia* L. Iwatsuki, K., Yamazaki, T., Boufford, D. E. and Ohba, H. (eds.). Flora of Japan IIIa, pp. 140-145. Kodansha, Tokyo.

(<sup>1</sup>〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 琉球大学大学院理工学研究科; <sup>2</sup>〒305-0005 つくば市天久保 4-1-1 国立科学博物館植物研究部; <sup>3</sup>〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原 1 琉球大学理学部海洋自然科学科 <sup>1</sup>Graduate School of Engineering and Science, University of the Ryukyus, Senbaru 1, Nishihara, Okinawa 903-0213, Japan; <sup>2</sup>Department of Botany, National Museum of Nature and Science, Tokyo, 4-1-1 Amakubo, Tsukuba, Ibaraki 305-0005, Japan; <sup>3</sup>Laboratory of Ecology and Systematics, Faculty of Science, University of the Ryukyus, Senbaru 1, Nishihara, Okinawa 903-0213, Japan)